

## 緊急企画

### 我がクラブのコロナ対応

## 滋賀県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 ＜滋賀県大津市＞

世界中で甚大な被害をもたらしている新型コロナウイルス感染症による影響は計り知れません。クラブが受ける影響も大きく、各クラブで試行錯誤している状況にあります。少しでも全国のクラブの力となるよう、新型コロナウイルス感染症対策の取り組みについてご紹介いたします。

### 「連絡協議会から滋賀の子どもたちへ」 —Facebookで運動遊びを動画で紹介—

#### 1 滋賀県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の概要

##### 「子どもの運動習慣アップ支援事業」など事業3本柱

滋賀県内には、現在、55クラブが設立されており、49クラブが県の連絡協議会に加入しています。本連絡協議会の事業は、クラブ運営のための情報共有と運営ノウハウを学ぶ機会として年に3回の研修会を開催するとともに、クラブ間交流を目的とし、卓球、ボウリング、グラウンド・ゴルフなど7種目の競技からなるスポーツ交流大会を実施。さらに、地域の課題である子どもの体力低下に対して改善を図るために取り組んでいる「子どもの運動習慣アップ支援事業」の3本柱となります。

##### 「指導者」ではなく、一緒に運動遊びに関わる「プレイリーダー」を育成

本連絡協議会では、運動遊びは子どもたちの自発的な活動を促すためのきっかけづくりであることから、運動遊びに関わる大人たちを「指導者」ではなく「プレイリーダー」と呼んでおり、平成30年度と令和元年度に実施した「運動遊びプレイリーダー育成講習会」を受講された「プレイリーダー」は、本連絡協議会に、現在57名在籍しています。3本柱のうち、6年目の取り組みとなる「子どもの運動習慣アップ支援事業」では、運動遊びプレイリーダーの育成講習会を開催し、地域の保育園、認定こども園へプレイリーダーを派遣し、園児と一緒に運動遊びを行っています。これからご紹介する取り組みも各クラブの運動遊びプレイリーダーが中心となり動画作成が進められました。

## 子どもの運動不足解消へ、動画を8回配信

### 迅速な対応—臨時休校報道から1週間で初配信

4月10日、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、県内のすべての小中学校が臨時休校となることが報道されました。報道直後に県の連絡協議会役員からは、「連絡協議会として学校などに通えなくなった滋賀の子どもたちに向けて何かできないか」という意見が出ました。本連絡協議会では、平成26年度より「子どもの運動習慣アップ支援事業」に取り組んできた実績があることから、運動遊びを紹介する動画を配信することで、子どもたちの運動不足の解消につなげることにしました。報道発表の翌日、4月11日に数クラブに連絡し協力を依頼、14日にクラブに出向き動画を撮影し、16日には滋賀県スポーツ協会Facebookにより第1弾の動画を投稿することができました。内容は「家でもできる簡単な運動遊び」ですので、道具を使わず、身体だけで遊ぶ「動物歩き」(くまさん、かにさん、かえるさんのように動物のマネをしながら歩く遊び)と、「からだじゃんけん」(グー、チョキ、パーを全身で表現し、勝ち負けを決める遊び)を選択しました。

県内クラブの皆さんのご協力により、報道からわずか1週間で動画を発信することができました。その後、5月15日までの間、3分程度の動画を8回配信しました。各クラブが日々行っている子ども向けスポーツ教室の中で実施されているプログラムや、指導者が推薦するプログラムを採用しました。特に何かを参考にしたということはありませんが、事前に打ち合わせを行い、クラブや指導者のそれぞれの思いをディスカッションするなど、撮影のためのシナリオ作りでアイデアを出し合ったことで、効率的に作業を進めることができました。

### 配信動画の概要

動画配信日	動画撮影・提供クラブ	動画の内容
① 4月16日	NPO法人アザックとよさと	家でもできる簡単な運動遊び
② 4月20日	NPO法人アザックとよさと	身近にある物で遊んでみよう
③ 4月24日	NPO法人アザックとよさと	親子で遊ぼう
④ 4月28日	いぶきスポーツクラブ	ダンスを踊ろう
⑤ 5月2日	いぶきスポーツクラブ	あんたがたどこさ
⑥ 5月7日	NPO法人BIWAKO SPORTS CLUB	風船を使って遊ぼう
⑦ 5月11日	NPO法人BIWAKO SPORTS CLUB	ボールで遊ぼう
⑧ 5月15日	大津市スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ	ラジオ体操第3

### 3

## 実施後の反響

### 好反響→クラブ側のSNS発信の契機に

動画を見られた方からは、「単純な動きだけど、実際にやってみると楽しかった」、「家でもできる運動なので、家族で楽しい時間を過ごすことができた」など、提供する側からするとやりがいを感じる有難い感想をいただきました。

動画の撮影協力や提供をいただいたクラブからは、「クラブの日頃の活動がアピールできた」、「連絡協議会への動画提供がきっかけとなり、クラブ独自で動画を配信した」、「今まで動画を作成する機会がなかったので、いい経験になった」などの感想もいただき、クラブがSNSを情報発信ツールとして活用する一つのきっかけになりました。

### ACPに取り組むスポ少との連携も視野

子どもの運動遊びへの取り組みが積極的でないクラブからは、「県内クラブのすべてが子どもの運動遊びに対応できるイメージを持たれるのはいかがなものか」といった感想もいただきました。指導者不足、ノウハウを持ち合わせていないクラブにとって、動画を見た方からクラブに問い合わせがきても対応できないとなると、マイナスイメージを与えてしまうという懸念があるようです。

本連絡協議会では、令和元年10月の研修会で栗東めじろキッズスポーツ少年団(栗東市)にACP(アクティブ・チャイルド・プログラム)への取り組みをご紹介いただいたこともあり、今後、今回の動画配信が発端となり、地域住民や団体から依頼があった場合は、スポーツ少年団とも連携し、対応することを提案したいと考えています。

### 4

## 動画配信で各クラブの知名度向上を期待

今回の動画配信をきっかけに、県内クラブがそれぞれの特徴を活かし動画を作成、SNSを通じて配信し、誰もが手軽に情報を得られることで、クラブの知名度向上につながることを期待しています。

### 一致協力の底力と連携の素晴らしさを実感

動画撮影に、ご協力くださったクラブの皆さん、動画作成に関する提案や助言をくださった皆さん、動画編集作業を快くお引き受けくださった県スポーツ協会の方や、多くの方々にご支援いただき動画を配信することができました。「一つのクラブでは不可能なことでも、複数のクラブが集まることで可能になる」。それが連絡協議会であり、その底力と連携の素晴らしさを、改めて実感できたのが今回の動画作成でした。まだまだ厳しい状況は続きますが、皆さんと力を合わせて、この危機を乗り越えたいと思います。

(公益財団法人滋賀県スポーツ協会 クラブアドバイザー 大橋 寛治)

## 連絡協議会プロフィール

**設立年月日** 平成23年4月1日

**概要** 平成17年度より、滋賀県広域スポーツセンター主導ではあるが、連絡協議会として情報交換会、研修会を実施した。平成23年4月に連絡協議会規約が制定され、理事を選出し、会費制による運営で連絡協議会として組織化された。平成26年度から平成30年度までの間、滋賀県より受託した「地域コミュニティ促進事業(初年度委託料:357千円)」が、現在の連絡協議会事業「子どもの運動習慣アップ支援事業」の基盤となった。

**連絡先** 〒 520-0807 滋賀県大津市松本1丁目2-20  
滋賀県農業教育情報センター4階 公益財団法人滋賀県スポーツ協会  
滋賀県広域スポーツセンター内  
TEL 077-511-3132 FAX 077-521-8484  
E-Mail [kouiki@bsn.or.jp](mailto:kouiki@bsn.or.jp)

※滋賀県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会「子どもの運動習慣アップ支援事業」の取り組みは、スポーツ庁Web広報マガジン「DEPORTARE」でご覧いただくことができます。

<https://sports.go.jp/tag/kids/post-18.html>